

日本山岳写真協会 関西支部 設立 20 周年記念

写真展：2016年3月1日（火）～6日 9時～17時 場所：京都市美術館本館 電話 075-771-4107
 展示：関西支部展「山との対話～20年のあゆみ～」 協会本部展と各支部からの選抜、公募展計 280点

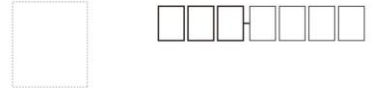


種花群生 山路一登

会期／平成28年3月1日(火)～6日(日) 9:00～17:00
 会場／京都市美術館 本館 (入場無料)

山との対話
 日本山岳写真協会関西支部
 設立20周年記念展
 特別出展 皇太子殿下
 同時開催／日本山岳写真協会選抜合同展

郵便はがき



日本山岳写真協会展

会期／平成28年3月1日(火)～6日(日)
 会場／京都市美術館 本館 (入場無料)
 主催／日本山岳写真協会関西支部
 協賛／日本山岳写真協会
 連絡先／電話075-956-0185
 アクセス ・京都市バス5系統乗車「京都
 公園美術館前」下車、徒歩
 ・地下鉄東西線「東御所」下車、
 徒歩8分



20周年記念祝賀会 2016年3月5日（土）18時より 場所：京都新阪急ホテル 1階すみれの間

20周年記念写真集 2016年1月31日発行

ハードカバー 外寸260×250cm 240頁 27名の会員作品89点（国内60点、海外20点）を掲載
 一般の販売予定はありません。写真展会場でご相談下さい。



山との対話
 Dialogue with Mountains

日本山岳写真協会 関西支部 20周年記念写真集

日本山岳写真協会関西支部 設立20周年記念写真集発刊に寄せて

日本山岳写真協会 会長 橋本勝

日本山岳写真協会関西支部の設立20周年、まことにおめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。

20年前といえば、甚大な被害をもたらした阪神・淡路大震災の翌年に当たります。この未曾有の災厄を跳ね除けて新たな門出を迎えられた会員各位には頭が下がります。苦難を乗り越え、20年という確かな歴史を刻んだ関西支部に快哉です。おめでとう。今後とも会員各位の益々のご活躍を期待しております。

山に登らなければ山岳写真は撮れない。当たり前のことですが、これがなかなか難しい。登る覚悟があっても歳相応に息切れするし、自然の不条理もあって必ず天候に恵まれるとは限らない。光がさまざまに山の表情を演出してくれる薄明を狙って前夜からテントを張って身構えていても、ごく小さな雲の塊光を遮ってしまい、鮮やかな山容を捉えることができないことも数知れない。山は意地悪だ。山岳写真家の全員が悔しい思いを味わっているに違いない。だが、それでも、年中、山に入る。籠る。いつかは満足できる山を撮る。撮れると信じて山へ通う。

こうした写真家の苦勞が実って、このたび関西支部設立20周年記念の写真集を発刊された。大震災を乗り越え、感性を磨いてきた会員各位の作品をじっくりと拝見しようと思う。写真集は会員それぞれが自らのテーマを掲げ、それに沿って国内の山々89点にネパールやフランス、スイスや中国等国外の山々20点を収めた珠玉の一冊だ。俳人の小林一茶が「めでたさも中位なりおらが春」と詠んでいるが、写真家は中位で満足してはいけない。常に自らの感性を十二分に映像化して、人々を驚かせなければいけない。目立たなければいけない。作品を発表する者にとっては、それが宿命だろうと思う。家族や周囲の理解がなければ山には入れない。これは肝に銘じておかなければならない。そのためには日頃の節制も大事であろうと思う。我儘は作品だけに留め、理解者には感謝の気持ちを表す。写真集の刊行は貴重な感謝の場でもある。出来上がった写真集は、まず、良き理解者に見て貰おう。それも切磋琢磨だ。いささか乱暴な物言いはご容赦の程を。設立20周年を迎えられた関西支部の会員各位に深く敬意を表します。このたびは、まことにおめでとうございます。

-2-

「20周年写真集によせて」

関西支部支部長 近藤嘉彦

関西支部が設立されて20年を迎えました。振り返れば1996年に風見武秀会長をお迎えして、神戸ポートピアホテルで関西支部は産声をあげました。2001年からは作品発表の場を京都市美術館に求め、関西支部会員展ばかりでなく、協会展や企画展、公募展も併催し、好評を博してきました。協会周年行事にも積極的に協力し、2004年の65周年記念には「京都フォーラム」（京都市国際交流会館）として各種イベントを、2009年の70周年には青野恭典副会長ほか4名の会員の合同企画展を、また2014年9月の75周年には上野の東京都美術館に続いて記念展を巡回開催し、延べ6千名を超える観客を動員することができました。

協会本部との共催撮影会は、2003年「伊吹山」（東海支部と合同）で、2010年「大台ヶ原」で開催しました。また昨年の75周年記念イベントでは東京都美術館講堂で「関西撮影地ガイド」のスライド講演会も実施しました。

関西支部が設立20周年を迎えるにあたり、2016年3月に京都市美術館で会員それぞれの「20年のあゆみ」を表現する記念展を開催します。同時に、記念写真集を発行することになりました。これまで写真集の制作を何度も企画しながら実現できず、また写真集への掲載を望みながら支部を去っていった会員も大勢います。

記念写真集は、記念写真展にあわせて、それぞれの会員がこれまで歩んできた20年を表現する編集になっています。地元の関西の山々をテーマに撮り続けた会員、豪快な北アルプスを中心に撮影した会員、あるいは国内に飽き足らず海外へ対象を求めた会員など撮影エリアは各地に広がっています。どうぞ、会員の想い入れをお汲み取りのうえ、ご高覧いただきたいと思います。

写真の世界は主流がフィルムからデジタルへと移り、関西支部会員も大判カメラから、デジタルカメラへ持ち替えた会員も多い。ご多分に漏れず高齢化も進んでいますが、設立20年はまだまだ通過点に過ぎません。この写真集が、将来へ向けて「山岳写真の若年層への浸透」と「後継者の育成」に繋がる礎になれば、望外のしあわせです。3